

報告第 2 号 富山地鉄宇奈月温泉駅バリアフリー化調査事業について

1. 宇奈月温泉駅の概要

【駅の概要】

- ・富山地方鉄道本線の終点駅である。
- ・一日平均 660 人の乗降（平成 26 年度）
- ・一日 30～35 便が発着。電鉄富山や立山との特急が運行する。
- ・新黒部駅（北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅に隣接）との所要時間は 16～40 分程度。

【構造】

- ・橋上型駅舎で 1 面 2 線の島式ホーム
- ・エレベーターがなく、階段の昇降が必要

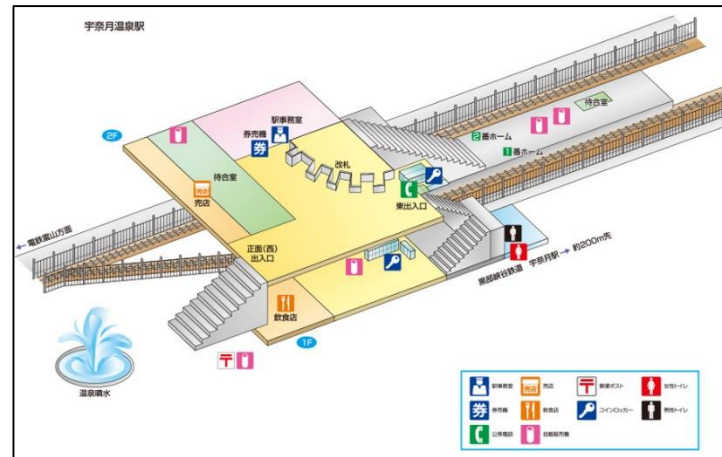


図 宇奈月温泉駅正面階段（正面・西出入口）



図 宇奈月温泉駅 ホームから階段方向を見る

2. 宇奈月温泉駅をとりまく状況

【立地】

- ・宇奈月温泉駅周辺には、富山県内の温泉地として最大規模である宇奈月温泉街が広がる。
- ・宇奈月温泉駅の東南には、黒部峡谷を訪ねる多くの観光客が利用する黒部峡谷鉄道宇奈月駅があり、両駅間の道路には、商店や土産物店、ホテルが建ち並んでいる。駅間の距離は 250m 程度である。

【観光】

- ・黒部峡谷鉄道の乗降人員は、平成 27 年は約 80 万人となり 5 年ぶりに 80 万人以上の利用となった。近年では、平成 16 年の 102 万人、平成 21 年の 97 万人が多い。
- ・黒部峡谷鉄道の訪日観光客数は、平成 27 年に 2 万人を初めて超え、20,562 人となっている。
- ・宇奈月温泉街の宿泊者数は減少傾向にあり、平成 25 年は約 26.2 万人であった。
- ・宇奈月温泉旅館の外国人宿泊者数は、平成 27 年に大きく増加し、23,378 人となっている。台湾からの宿泊者数が最も多く、全体の半数弱を占めている。

【周辺地区人口】

- ・宇奈月温泉駅が立地する宇奈月地区人口は 435 人、高齢化率は 34%（H27 年末 住民基本台帳）

3. 宇奈月温泉駅利用者数の推計

- ・富山地方鉄道では宇奈月温泉駅の利用者数を直接集計していない。発券状況等から年間利用者数を算定しており一日あたりの利用者数は把握できないため、把握可能な数値を用いて利用者数を推計した。

【推計に用いた主なデータ】

- ・宇奈月温泉駅における IC カード利用データ（日毎、利用種別ごと）
- ・宇奈月温泉駅改札前での利用状況調査実測値（他調査により数日実施）
- ・新黒部駅における方面ごと利用者数（現地アテンダントが毎日、目視で集計）
- ・富山地方鉄道全線の発券状況データ

【平成 27 年度 宇奈月温泉駅の北陸新幹線開業後利用者数推計値と利用者数階級ごとの日数】

- ・北陸新幹線開業後の宇奈月温泉駅利用者数は、年間 847 人/日、最大で 2,842 人、2,000 人以上の利用日数が 7 日と推計された。

始	終	日数	宇奈月温泉駅				人	日数	
			試算値	一日あたり	最大値	最小値			
4月1日	4月30日	4月	30	11,053	368	754	203	1500	64
5月1日	5月31日	5月	31	28,583	922	1,681	382	1600	47
6月1日	6月30日	6月	30	23,805	794	1,372	510	1700	34
7月1日	7月31日	7月	31	31,628	1,020	1,799	548	1800	22
8月1日	8月31日	8月	31	48,798	1,574	2,005	926	1900	15
9月1日	9月30日	9月	30	37,467	1,249	2,842	564	2000	7
10月1日	10月31日	10月	31	46,169	1,489	2,119	885	2100	5
11月1日	11月30日	11月	30	41,033	1,368	2,392	509	2200	3
12月1日	12月31日	12月	31	10,935	353	808	149	2300	3
1月1日	1月31日	1月	31	9,365	302	678	149	2400	2
2月1日	2月29日	2月	29	11,552	398	785	186	2500	1
3月1日	3月31日	3月	31	9,615	310	719	140	2600	1
		合計	366	310,003	847			2700	1
								2800	1
								2900	0
								3000	0

左表：平成 27 年度宇奈月温泉駅利用者数試算値 右表：1日あたり利用者数階級ごとの日数

【参考 宇奈月温泉駅 利用状況調査実測値での年齢 3 区分ごと利用割合】

- ・11 月第 1 日曜日に調査。7 時～19 時の利用者数 H26 1,233 人/H27 1,855 人。前年比 150% 増。
- ・仮に調査時間外の利用が総利用者数の 5% 程度とすると、1,948 人/日となる。
- ・65 歳以上の高齢者比率が 30% 近く増加した。定期利用者の変動は少ないことから、観光客の増加が要因と考えられる。
- ・65 歳以上の高齢者は前年対比 28% 増

	降車				乗車				乗降			
	15歳未満	15～64歳	65歳以上	合計	15歳未満	15～64歳	65歳以上	合計	15歳未満	15～64歳	65歳以上	合計
平成26年	40	479	98	617	28	464	124	616	68	943	222	1233
平成27年	74	642	176	892	82	629	252	963	156	1271	428	1855
前年対比	185%	134%	180%	145%	293%	136%	203%	156%	229%	135%	193%	150%

	降車				乗車				乗降			
	15歳未満	15～64歳	65歳以上	合計	15歳未満	15～64歳	65歳以上	合計	15歳未満	15～64歳	65歳以上	合計
平成26年	6.5%	77.6%	15.9%	100.0%	4.5%	75.3%	20.1%	100.0%	5.5%	76.5%	18.0%	100.0%
平成27年	8.3%	72.0%	19.7%	100.0%	8.5%	65.3%	26.2%	100.0%	8.4%	68.5%	23.1%	100.0%
前年対比	128%	93%	124%		187%	87%	130%		152%	90%	128%	

4. 入込客数の増加等に伴う宇奈月温泉駅利用者数の将来予測

・宇奈月温泉に関連して、以下の将来需要が見込まれている。これらを加味し、宇奈月温泉駅利用者数の将来予測を行った。

- ① 黒部市宇奈月温泉総湯（湯めどころ 宇奈月）の開業
 - ・想定入込客数 55,000 人／年
- ② 旅館送迎人員
 - ・各旅館から黒部宇奈月温泉駅に送迎される人数の公共交通転換需要。
 - ・年間送迎客数 37 万人×9%（アンケート平均）＝33,300 人
- ③ 黒部峡谷鉄道
 - ・平成 28 年予想人員 85 万人（平成 27 年 804,348 人） ※例年とおりの全線開通を 5 月初旬と想定
 - ・将来は 100 万人への回帰を目標
- ④ 公共交通の利便性向上による増加
 - ・バリアフリー化やサインの整備、その他利便性向上施策により、入込客数のうち 10%が公共交通利用に転換すると仮定

将来予測(平成 28 年度予測)

① 需要条件

- ・黒部峡谷鉄道の年間利用者数
 - ⇒850,000 人（平成 27 年比 45,654 人増／5.7%増）※黒部峡谷鉄道目標値
- ・宇奈月温泉旅館宿泊者の黒部宇奈月温泉駅までの送迎を公共交通転換
 - ⇒年間 33,300 人（年間宿泊者数見込 37 万人×送迎率 9%＝33,000 人）
 - ※宇奈月温泉旅館組合試算値
- ・宇奈月温泉総湯の年間利用者数のうち公共交通利用者
 - ⇒年間 4,950 人（年間利用者数見込 55,000 人×利用率 9%＝4,950 人）
 - ※利用者数は宇奈月温泉総湯目標値、利用率は宇奈月温泉旅館の送迎利用者数と同値と仮定

② 推計結果

- ・一日あたり平均利用者数は 974 人、一日あたり 3,000 人以上利用する日は年間 1 日と推計された。

	宇奈月温泉駅利用者数(人)				人	日数
	推計値	一日あたり	最大値	最小値		
4 月	12,676	423	865	233	1500	91
5 月	32,936	1,062	1,937	440	1600	79
6 月	27,428	914	1,580	588	1700	65
7 月	36,452	1,176	2,074	632	1800	55
8 月	56,310	1,816	2,313	1,069	1900	41
9 月	43,200	1,440	3,277	650	2000	30
10 月	53,253	1,718	2,444	1,021	2100	21
11 月	47,326	1,577	2,759	587	2200	14
12 月	12,540	405	926	171	2300	7
1 月	10,523	339	762	168	2400	5
2 月	12,978	448	882	209	2500	3
3 月	10,800	348	807	158	2600	3
合計	356,422	974			2700	3
					2800	2
					2900	1
					3000	1
					3100	1
					3200	1
					3300	0
					3400	0
					3500	0
					3600	0
					3700	0

左表:宇奈月温泉駅利用者数将来予測値 右表:1日あたり利用者数階級ごとの日数

5. 宇奈月温泉駅バリアフリー化の必要性

【駅の拠点性】

- ・富山県有数の観光地である宇奈月温泉の拠点駅である。
- ・同様に富山県有数の観光資源である黒部峡谷鉄道との乗換駅である。
- ・北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅から新黒部駅で乗り換えて訪れる観光客のアクセス路線である。
- ・電鉄富山駅（北陸新幹線富山駅）や、立山駅（立山黒部アルペンルート拠点駅）を結ぶ特急路線の起終点駅である。

【高齢化、障害者への対応】

- ・エレベーターが無く駅を利用するためには、長い階段の上り下りが必要。
- ・車いす利用者の駅利用には介助が必要。
- ・移動経路に視覚障害者誘導用ブロックや音声案内等の案内設備が設置されていない。
- ・障害者用多目的トイレが無く、トイレはラッチ外 1 階にしか無いため、待合室や改札付近からの利用時には階段の上り下りが必要。
- ・利用者の内 65 歳以上の高齢者比率が、平成 26 年と平成 27 年の比で 30%近く増加。

【観光面の対応】

- ・急増する外国人観光客に対して外国語表記の案内が少ない上、サインデザインが不統一。

富山地鉄宇奈月温泉駅バリアフリー化の主な方向性

- ・宇奈月温泉駅駅舎内及び構内へのエレベーター設置
- ・バリアフリー化した移動経路の確保と障害者用多目的トイレの設置
- ・外国人観光客に対応したサイン計画

6. 今後の方針について

国の支援に関するこれまでの状況(平成 27 年度まで)

- ・鉄道駅のバリアフリー化に関しては、国の支援制度があり、「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通バリア解消促進等事業）」により「バリアフリー化設備等整備事業」を受けてきた。

国の支援に関する今後の状況(平成 28 年度から)

宇奈月温泉駅バリアフリー化に向けた事業のうち、

- ・主にエレベーターの整備に関する事業⇒訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金
- ・主にトイレの整備に関する事業 ⇒これまでと同様の地域公共交通確保維持改善事業費補助金

となり、整備する対象により異なる支援スキームが適用される。

以上より、今後も引き続き国との連絡を密にとりながら、支援スキームに計画を乗せられる様に、多様な観点から情報収集し、事業計画のブラッシュアップを図る。

(1) 「次の時代」に向けたインバウンド受入環境整備・観光産業活性化

○ 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業【新規】

予算額 8,000百万円

- 「次の時代」に向けて、地域のインバウンド受入環境整備を支援する補助制度を創設
- 訪日外国人の入国から、目的地までの移動、観光地での交流・体験、宿泊施設での滞在まで、面的に受入環境整備を支援
- あわせて、訪日外国人の滞在・移動に関する不満・要望を SNS 等で調査して検証

